

## 交換留学生定期レポート（3月）

人間科学部人間科学科  
武信瑞生

2nd Semester が始まって2ヶ月ほど過ぎました。1st Semester までは Southeast Asian Studies (SEAS) というコースに在籍していましたが、今学期はこのコースが無いということだったので Thai Studies というコースに在籍しています。SEAS に在学した留学生はほとんどが日本人で、クラスにおいても4割程度が日本人でした。

今学期在籍している Thai Studies には留学生自体多くなく、クラスでもほとんどがタイ人です。しかしタイ人の学生は全員英語力が高く優秀で、Thai Studies の授業ではそれ相応の能力が求められているという感覚です。それゆえ SEAS でも苦戦してしまった私はさらに今学期苦戦を強いられているという状況です。

Thai Studies のプログラムでは文字通りタイについて学習します。主にタイの文化や歴史、ASEAN 諸国との関係などについて学ぶ授業があります。今私は Thai Cuisine、Media and Entertainment in Thailand、Thai Dance and Music、Buddhism in Thailand という4つの授業を履修しています。私にとってはどれも難しい授業ですが、自分が今住んでいるタイの食や宗教など身近なことについて深掘りしているという感覚で、無事に最後までついでいけたらと思います。

### 知らない土地で体験した入院

長期休暇中の1月にプーケットという島に行きました。目的はそこからさらにフェリーに乗った先にあるピピ島という島に向かうためでした。ピピ島に向かう前日プーケットで1泊していたところ、夜になって、下痢と吐き気、高熱に見舞われました。原因が不明なのですが食中毒だろうということでまず保険会社に連絡し、現地の病院を紹介してもらいました。病院に向かうと英語と電話通訳による日本語での問診が行われました。自覚している以上に重症だったらしくその場で入院してくださいと言われ、1日入院することになりました。



・プーケットにある病院で入院したときの病院食。医師の方にタンパク質を摂らないように言われたにもかかわらず、ミートソースのパスタと豆乳が出されて驚きました。

でも、知らない土地でも医療が受けられて、食事まで出してもらえることにとっても感謝しました。

知らない土地で、しかもどの程度の医療体制が整っているのかもわからない場所での入院はとても不安でしたが対応してくださった医師の方や看護師の方々は親切な方ばかりでしたし、問題なくコミュニケーションもとれたので安心して過ごすことができました。

異国の地での入院なんて一生に1回するかわからないような体験です。肉体的にも精神的にも過酷でしたが、こういうこともいい経験だったと思いながら留学生活を送っています。目的のピピ島には行けませんでした。

また、海外に行くときには保険に加入しないといけないと改めて実感しました。